

製品名: リン酸化レプチン受容体 (Tyr1141) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号:** APRab00943

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	Calculated MW: 132 kDa; Observed MW: 132 kDa

抗原情報

遺伝子名	LEPR
別名	Leptin receptor; LEP-R; HuB219 OB receptor; OB-R; CD295; LEPR; DB; OBR
遺伝子 ID	3953
SwissProt ID	P48357
免疫原	標的タンパク質の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

背景

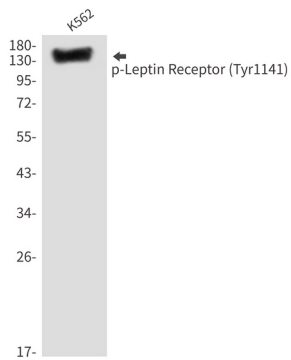
リガンド結合により、JAK2/STAT3 や MAPK カスケード/FOS といった様々なシグナル伝達経路の活性化を介して、LEP の中枢および末梢作用を媒介します。視床下部において、LEP は食欲調節因子として作用し、食欲抑制因子の誘導と食欲増進神経ペプチドの抑制を

通じて、摂食量の減少とエネルギー消費量の増加を誘導します。また、骨量と視床下部-下垂体-副腎ホルモンの分泌も調節します（類似性による）。

研究分野

シグナル伝達

画像データ



ホスホレプチン受容体 (Tyr1141) 抗体を使用した K562 溶解物中のホスホレプチン受容体 (Tyr1141) のウエスタンブロット分析。